



進路便り No.6

令和2年8月27日

徳島県立みなと高等学園
進路指導課

『自己実現』において

3年生にとって非常に重要な夏休みの「現場実習」も、いよいよ終盤にさしかかってきました。コロナ禍だけでなく、梅雨の長雨や猛暑など、今年はとても大変だったのではないのでしょうか。すでに無事実習を終え、報告に来てくれた生徒もいます。夏も残りわずか。3年生ガンバレ！

2年生は9月から「現場実習」がスタートし、1年生は初の「校内実習」が待ち構えています。無事これらの実習を乗り越えるためには、日常の生活習慣が大切になります。夏休みで生活は乱れていませんか？健康管理（食事・体調・服薬）や日常生活管理（基本的な生活習慣・余暇の過ごし方）について見つめ直し、しっかりと整えていきましょう。

『自己理解』について

就労に向けた取り組みをする上で、「自己理解」はとても重要です。

【自分は何をしたいのか。どのようなことが得意で、どのようなことが苦手なのか。どのような課題があり、どのような努力が必要なのか。そして、どのようなサポートをしてほしいのか。】

まずは自分で考え、保護者や担任の先生に必ず相談しましょう。9月から忙しくなります。8月中に取り組んでください。社会に出て、実際に働くのはあなた自身です。誰も代わりに働くことはできません。「自己理解」はそのための準備です。

求められるのは《基礎・基本》

令和元年度卒業生（6期生）が就労した事業所に向けてアンケートを実施しました。【就労する上で大切に考えていること】や、【学校で学んでほしいこと】など、率直な意見をいただいたので紹介します。

【就労する上で大切だと考えていること】（多かった意見）

・休まない ・場に応じたあいさつができる ・ルールを守ることができる
・意欲がある ・安定している ・真面目（素直）

また、「能力よりも就労意欲や態度など気持ちの面が重要だと考えています。」という具体的コメントもいただいています。

【学校で学んで（身につけて）ほしいこと】

・あいさつや勤務態度、時間厳守、身だしなみをしっかり学んでほしい。
・就労に必要な体力、生活・健康管理をする力。
・仕事を学ぶ取るための態度や姿勢。

作業技能などよりも「あいさつや体調管理、仕事に対する姿勢等、社会へ出るための基本的なこと」を学んで（身につけて）ほしいという回答が多くありました。

「就労する時」も「就労した後」も《基礎的・基本的》なことが評価されています。そして、その人の《人間性》として見られているようです。普段の家庭生活や学校生活でできていないことは社会に出てもできません。逆に、普段からこういったことを大切にできている人は社会でも信頼されます。